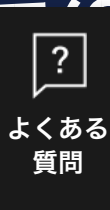


横須賀市 変化を力に進むまち。

更新日：2023年7月5日 ページID：95932

報道発表資料

ウイルス感染症「ヘルパンギーナ」の 流行発生警報について（2023年7月5 日）



横須賀市において乳幼児を中心に、突然の高熱と、喉の奥に現れる水ぶくれを特徴とするヘルパンギーナが流行しています。

第26週（6月26日～7月2日）の感染症発生動向調査でヘルパンギーナの定点医療機関あたりの報告数6.56人（定点数／9か所、報告数／59人）

となりました。

流行発生警報基準値（定点あたり6.00人）を超えたため、ヘルパンギーナ流行発生警報を発令します。

「定点医療機関」とは、流行状況を把握するため、感染症の発生件数を報告いた

だいている医療機関です。

ヘルパンギーナは9か所の小児科医療機関が定点医療機関となっています。

週	第23週	第24週	第25週	第26週
期間	6月5日～6月11日	6月12日～6月18日	6月19日～6月25日	6月26日～7月2日
全国	3.00	4.50	5.79	-
神奈川県	3.03	5.15	6.16	-
横須賀市	1.56	4.33	5.00	6.56

【主な症状】

ヘルパンギーナは、初夏から秋にかけて流行する感染症で、突然高熱が出て、喉の奥に小さな水ぶくれができます。

高熱は2～3日続きますが、通常であれば1週間ほどで治ります。

【治療方法】

特効薬やワクチンはありませんので、症状をやわらげる対症療法が中心になります。熱や下痢による脱水症状に気を付けて、

十分に水分をとることが重要です。

【予防方法】

感染者との密接な接触は避け、咳やくしゃみなどの飛沫感染を防ぎましょう。流行時にうがいや手指の消毒を心がけましょう。

症状が消失しても、便の中にウイルスが2～4週間にわたり排泄されます。接触感染や糞口感染を予防するために、流水と石鹸で手洗いをしっかり行うことが重要です。

症状の有無に関わらず、日頃から手洗いを習慣化し、トイレの後、おむつ交換の後、食事の前にしっかりと手を洗うことが大切です。

お問い合わせ

民生局健康部保健所保健予防課

〒238-0046 横須賀市西逸見町1丁目38番地11 ウェルシティ市民プラザ
3階

電話番号：046-822-4526

ファクス：046-822-4874

横須賀市

法人番号：3000020142018

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11

電話番号：046-822-4000 ファクス番号：046-822-7795

開庁時間：月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで

（土曜日・日曜日、祝日・休日、年末年始を除く）

Copyright © Yokosuka city. All rights reserved.